

Rotary

ロータリー
変化をもたらす

2017~2018 年度

国際ロータリーテーマ

ロータリー 変化をもたらす

国際ロータリー会長 イアンH.S.ライズリー

第2790地区ガバナー 寺嶋哲生
 第6分区ガバナー補佐 志田延子
 東金ロータリークラブ会長 秋葉芳秀
 " 幹事並木孝治

東金ロータリークラブ 概要

Togane RC Information

創立 1959年9月15日
 R I 承認 1959年10月17日
 例会日 火曜日 12:30~13:30
 例会場 東金商工会館4階
 Makeup fee ¥2,000
 WEB <http://www.togane-rc.jp/>
 事務所 ☎283-0068
 千葉県東金市東岩崎1-5
 東金商工会議所内
 TEL 0475-52-1101(代)
 FAX 050-3730-2559
 E-mail info@togane-rc.jp

ロータリー:
変化をもたらす

第59巻第24号 通巻第2792号

第2813回 例会

2018年(平成30年)4月17日

12:30点鐘 商工会議所4階例会場

Program

開会宣言・点鐘	秋葉 芳秀 会長
歌	「手に手つないで」
四つのテスト唱和	並木 孝治 幹事
お客様紹介	並木 孝治 幹事
お食事	みつはし
会長挨拶	秋葉 芳秀 会長
幹事報告	並木 孝治 幹事
卓話	猪野尾 信様 (有)アグリ金穂咲 代表)
ニコニコBOX発表	親睦委員会
出席報告	管理運営委員会
閉会宣言・点鐘	秋葉 芳秀 会長

第 2811 回 例会の記録 <4月3日>

会長挨拶



秋葉 芳秀 会長

皆さん、こんにちは。最近の天気予報は正確に且つ地域限定で発表されますが、今日は、暑いそうです。

前に座っている方は、新しい米山奨学生「アニス コイルン ニサ」さんです。インドネシア出身で、これから1年間、例会でお会いすることになります。私たちは「ニサ」と呼びましょう、そしてカウンセラーはベテランの小林信雄会員です。

現在、城西国際大学の福祉総合学研究科・福祉社会専攻している2年生です。

本人はインドネシアに住む兄からの仕送り、そしてアルバイトで糧を得ています。これからは米山奨学生として毎月14万円が1年間、米山奨学会から出ます。誠に、有難いことであり、感謝しなければなりません。ですからニサには、一所懸命に日本の福祉について勉強する情熱が必要で、その知識をインドネシアで活かす責任と使命を背負っています。

小林信雄カウンセラーと共に東金RCもニサの勉学を応援します。クラブの皆様のご支援・ご協力をお願いします。

さて、カンボジアから千葉大で学んでいる直前奨学生ナレットからメールが届きました。彼は、在日カンボジア留学生協会の会長を務めているそうです。

4月15日(日)に東京・森下文化センターで開催される「カンボジア新年会」の案内です。これも縁ですので参加し本人にエールを送ってきます。

幹事報告



並木 孝治 幹事

○城西国際大学事務局長の越川さんが

4月1日から小池さんに変わります。

○4月21日茂原の竹林で第6分区次年度会長幹事会です。古川次期会長と私が出席します。

○4月29日地区研修会があります。

ほとんどの会員が出席だと思いますので、よろしくお願ひいたします。マイクロバスの出発時刻などは後程個別に連絡いたします。

入会式

越川さんが退会、小池さんが入会となります。理事会で承認されましたので、入会式を行いました。



秋葉芳秀 会長（左） 小池智 会員（右）

あいさつ



新会員 小池 智 様

城西国際大学 4月 1日から事務局長に襲名しました小池智です。どうぞよろしくお願ひいたします。皆様方のお力があって、ニサさんに米山奨学生を授与させていただきました。感謝とお礼を申し上げたいと思います。従来からお世話になっています小林さん、またご面倒を見てくださるとい

う事で引き続きよろしくお願ひいたします。

私は 1992 年城西国際大学が出来た当時から、この大学に関わっています。当初大学のことを何も知らない事務局の集まりがありました。最初に 2 代前の小久保良行さんがここロータリーの会員になっていましたが、大学の業務をつかさどって、知っている方が 2 名、そのうちの一人が小久保さんでした。私も小久保さんにいろいろな仕事を教わりながら大学をやってきましたつもりです。

東金に来て一番最初に感じたことは「ああ、いなかだな」と。当時まだ東金駅と求名の所には商店街が無くて、田んぼが広がっていた記憶があります。でも 25 年以上を経て田んぼが全部商店街に変わり、東金市と言うものがだいぶ活性化してきたのかな、と今でも思っています。周りの地域自治体を見ますと、少し衰退をしている感じがあるのですが、東金は約 5000 人の学生がいて、その学生に支えられながら皆さんに支えられながら、大学があるという事で、東金の活性化にこれからも繋げていきたいと思っています。

「良い大学があるところには良い町がある。良い町があるところには良い大学がある」というような考えの下で、私も東金と一緒にやって行けたらと思っています。

今まで総務課長を長年やっていました、地域との関係づくりも重視してきました。東金市はじめ近隣の自治体の皆様ともある程度の人脈を持つことが出来、これからなお一層その人脈を生かしながら地域と

のつながりを深めていきたいと思っております。

大学は、理事長が変わり学長が変わり新しい体制になって2年目に入っています。学生第一主義、学生の教育を第一に考えようという方針の元で、自由な意見交換、会議をし、大学が生き残るための方策を毎日考えています。

18歳人口が減り、15年、20年後には今よりも20万人、少なくなるという事で、大学は死活問題です。生き残るのにどのようにしていったらいいのか、懸命に考えているところです。これからも地域の皆様と一緒にいろいろご支援をいただきながらやって行けたらと思っております。

ここに来まして皆様のお顔を拝見しまして、昔からご存知の方が多数いらっしゃいました。そういう意味で、私も本当に肩の力を抜きながらこのテーブルに着くことが出来ましたので、これからもよろしくお願い致します。

米山奨学生授与



秋葉芳秀 会長(左) アニス コイルン ニサさん(右)

卓話



米山奨学生 アニス コイルン ニサ さん

ロータリーの皆様、こんにちは。奨学生いただき、誠にありがとうございます。はじめまして。私は城西国際大学院福祉総合学研究科福祉社会専攻の修士課程に在籍しているアニス コイルン ニサと申します。私の出身地はインドネシアの東ジャワ (JAWA TIMUR) です。主にインドネシアの地方への高齢者に対する地域包括ケアシステムの在り方について研究しております。今回はじめてのスピーチで、なぜ留学先に日本を選んだのか、将来日本留学を終えた後の計画について少しお話ししたいと思います。

日本文化との出会い

高校生の頃から私は日本文化がとても好きでした。インドネシアで開催された日本祭りやイベントにもよく参加していました。日本文化を知れば知るほど、日本語も話せるようになりたいと思い、私はインドネシアの大学の日本語学科に入学しました。大学では日本語の勉強はもちろん日本の文化や歴史を学ぶ機会がありました

が、私は日本の生活がどのようなものなのかを実際に経験してみたいと思うようになりました。そこで日本語の知識を高めるため、日本の生活や文化を体験するため、日本へ留学することを決意しました。

日本での学び

私は 2015 年 7 月に来日し、静岡県の ACC 国際交流日本語学校で 1 年 8 か月ぐらい、日本語を学びました。ここでは日本の習慣だけではなく、日本の現代社会全般や社会保障制度について学びました。日本は国民に対する様々なサービスや仕組み、特に高齢者を支えるための支援が充実していると感じています。例えば、日本ではインドネシアと比べて高齢者向けの介護施設・デイサービス民間事業などがとても多いです。また、郵便局のような公的機関と連携した地域住民のサポートやボランティア活動など、インドネシアにはない活動が盛んだと思います。

日本の福祉について学びたい

このような、大変関心がある私は日本の福祉についてさらにも詳しく勉強したいと思いました。そのため、日本語学校を卒業し現在城西国際大学院の福祉社会専攻をしています。近年、インドネシアの高齢化が日本と同じく進んでおり、地方における高齢者の数は大都市部に比べるとより高いのですが、地方は高齢者施設やサービスが大都市部に比べると遅れています。例えば病院のような医療機関がジャカルタなどの大都市部に集中して、医療サービス

を受けられない地方に住んでいる高齢者がまだ多く見られています。そのため、地方も包括的な高齢者サービスの整備が必要だと思われています。

したがって、現在、インドネシアには提供されているサービスはまだ一部に限られ、保健医療人材や施設なども不十分な現状です。また、都市と地方にある政府機関だけでなく、NGO や NPO のような民間の社会福祉団体のシステムもばらばらで、日本の様に包括的に連携する団体が定められない現状です。このような問題をふまえた上で、今後日本インドネシアの高齢者にとってより良いものになるように貢献したいと思います。そのため、日本の福祉の良いところを学び、将来はその知識をインドネシアで活用したいと思います。

お客様スピーチ



城西国際大学国際教育センター 富田 様

城西国際大学国際教育センターの富田と申します。私の方では大学に来る留学生のお世話をしています。年間 1 番多いときで

1400人ぐらいの留学生が東金に滞在します。

インドネシアからの学生が一番困るのは食べ物です。ハラールという決まりがありまして、結構厳しいものです。例えばお醤油一つにしてもハラール専用のお醤油があるという事で、日本に来て、食べる物が一番苦労している点だと思います。幸い、日本はハラールの理解が深まり、専門店も増えてきました。留学生にとって暮らしやすくなってきてはいます。いろいろな情報を留学生に提供し、生活に困らないようにお世話をしています。

ニサさんは静岡からこちらにきました。こちらは静岡よりもハラールが知られていないので、ちょっと苦労をしています。一生懸命、いろいろな料理を覚えてやっているという事で、今、生活の方も安定しております。

文化の違いでいろいろな苦労があると思いますので、是非ご支援ご指導いただければと思っております。よろしくお願ひいたします。

カウンセラーより



小林 信雄 会員

カウンセラーを仰せつかりました小林でございます。ニサさんのご出身は、細長い島のスラヴィア島です。インドネシアには、当時たいへん日本でも大変流行った歌「ブンガワンソロ」があります。これは川を讃えた歌です。清水先生共々、カウンセラーとして彼女の学業を支えて参りたいと思います。よろしくお願ひいたします。

欠席・Makeup の連絡は、前の週金曜日までに（緊急の場合は当日 10 時までに）事務局宛に、電話・FAX・Eメールにてお願いします。メーキャップ先への事前連絡もお忘れなく。

電話 090-7634-7175 / FAX 050-3730-2559
Email: info@togane-rc.jp

出席率 4月3日

会員数	出席率	コイン BOX
15名	80.00%	3,400円

第2812回例会 東金RC・成田空港南RC合同例会

<4月12日>

会長挨拶



成田空港南RC 前川成吉会長



秋葉会長

成田空港南RCの皆様、こんにちは。
今日はお世話になりますが、来年は、お世
話をさせていただきます。

さて、皆様にお配りしたA4両面コピー
の資料を説明させていただきます。3月7
日の千葉日報朝刊の記事です。

(中略)

裏側の資料について説明します。私と小林信雄さんが、直前米山奨学生ナレット君に、近い内にお別れだけど、東金RCとしてお手伝いできることがあれば、遠慮なく言ってごらんと伝えました。

彼は遠慮しがちに、カンボジアの小学校の屋根が壊れており、非常に危険な中で子供達が勉強しているので、その修繕をお願いできませんかとのことでした。費用は日本円で約35万円程度かかるようです。理事会で協議し、例会でも説明し、ナレット君の縁もあり、実行することになりました。そして地区財団に対し、総額50万円の地区補助金の申請も行いました。

千葉日報で見た吉川先生の記事の規模にはなりませんが、米山奨学生の縁がきっかけで、当クラブのカンボジアへの国際奉仕活動に至る展開になるとは思っておりませんでした。

富・米山奨学委員長、このような展開になりましたことをこの席でご報告いたします。これからが大変ですが、必ず実践しますので、今後も応援をお願いします。そして、来年のこの合同例会の席で、良い結果報告ができますことを祈って下さい。

幹事報告



東金 R C 並木孝治 幹事



成田空港南 R C 倉石昌治 幹事



次年度会長幹事紹介

東金 R C

古川次年度会長 並木次年度幹事

成田空港南 R C



高田一行次年度会長



杉森幹男次年度幹事

